

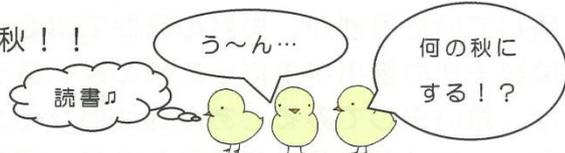
それゆけ！ としょかんだより



2007年11月
第7号

発行所
高野山大学図書館
閲覧室

ついに来ました！食欲の秋♪ スポーツの秋♪ そして、読書の秋！！
いろいろな秋を楽しもう～！

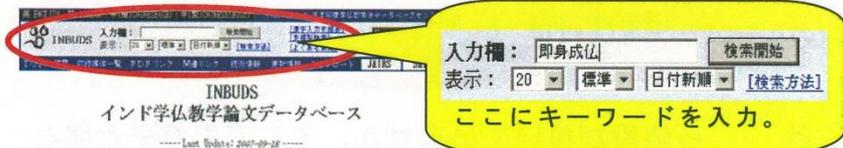
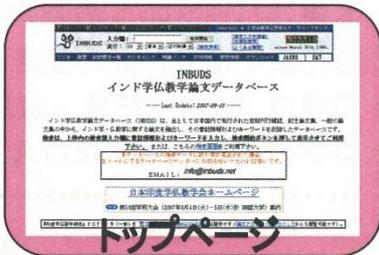


論文を探そう！ ～第3回 INBUDS篇～

※ INBUDS のホームページアドレス
<http://www.inbuds.net/jpn/index.html>

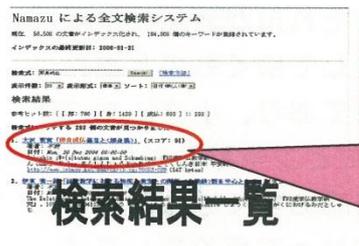
密教学科の学生さんには特に重要ですよ！！

前号・前々号に続き、いよいよ今回から論文検索サイトの具体的な使い方を紹介していきます！！
今回は、「INBUDS インド学仏教学論文データベース」の使い方です！



INBUDSの検索方法はとても簡単。トップページ上部の入力欄にキーワードを入力し、「検索開始ボタン」をクリックするだけです。

キーワードはなんでもかまいません。また、Google や Yahoo!のように、スペースをはさんでキーワードを複数個指定すれば、検索範囲をさらに絞り込むことができます。



★検索結果一覧の見方

掲載誌名と巻号

著者名と論題

読みとキーワード

1. 大沢 聖寛『即身成仏義言と即身義』(スコア: 91)
著者: 不明
日付: 20 Dec 2006 09:09:00
Sokusan ni jii=[obatsu eigen and Sokushinsi] 106(53-1) 20041220 おおさわ しょうか
A. Osawa, Shokan. Sokushin jiyōbutsugon to sokushin gi. 日本仏教/日本密教 空海/實録 即
http://www.inbuds.net/search/ib.cgi?20052-029 (547 bytes)

2007年10月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

1. 大沢 聖寛『即身成仏義言と即身義』
著者: 不明
ここをクリックすると...

検索結果詳細

大沢 聖寛『即身成仏義言と即身義』
Osawa, Shokan. "Sokushin jiyōbutsu gion and Sokushinsi"

収録	
媒体名	『印度学仏教学研究』106(53-1) 駒沢大学におけ
発行年月日	20041220
ページ	42-46
ISSN	ISSN 0019-4344
ISBN	ISBN

検索ボタンを押すと、検索結果一覧が表示されます。その中から読みたい論文を選び、「著者名と論題」が表示されている箇所をクリックすると、詳細画面が表示されます。

読みたい論文が図書館にあるかどうかは、論文が掲載されている雑誌（あるいは図書）を、OPACで検索して確認してください。

論文の掲載されている雑誌や図書が、当館に所蔵されていない場合でも、他の図書館から取り寄せることができます。
※取り寄せる場合には、実費がかかります。

2007年11月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

9:00-19:00	13:00-19:00
9:00-17:00	13:00-17:00
9:30-12:00 / 13:10-17:00	
閉館	

わからないことがありましたら、お気軽に図書館カウンターまで！ 切り取り

今月のおすすめ図書！

※今月は山陰 加春夫先生のおすすめです。



阿部 謹也 著『ハーメルンの笛吹き男』
(ちくま文庫、1988年、初刊は1974年)

請求記号：733/ハ/10



網野善彦 著『増補 無縁・公界・楽』
(平凡社ライブラリー、1996年、初刊は1978年)

請求記号：712/ム/15

1971年5月のこと、西ドイツのゲッチンゲン市にある州立図書館で古文書、古写本の分析に没頭していた著者が、史料のなかで出会った「鼠捕り男の伝説」。「〈ハーメルンの笛吹き男〉。それは数十年の昔小学生だった私の家にあったまだらの服を着たあのおとぎ話の男のことではないだろうか。思い出してみるとあの話は単なるメルヘンとしてはあまりに生々しくユニークであり、単なる事実としてはあまりに幻想豊かな詩と現実との交錯した彩りをもっていた。……この話には何か深い秘密が隠されていそうだ。」こうして著者は、グリムの『ドイツ伝説集』でよく知られている〈ハーメルンの笛吹き男〉伝説の謎解きに挑んでいく。1284年6月26日に笛吹き男によってハーメルンの町から連れ去られた130人の子たち。彼らは何処に行ったのか。笛吹き男とは何者か。読者は、著者の謎解きに付き合ううちに、次第に中世ヨーロッパ社会の現実のなかに引き込まれていく……。本書『ハーメルンの笛吹き男』は、日本で「社会史」ブームを巻き起こすきっかけとなった記念碑的な作品である。後に書店に「網野善彦コーナー」を作らせるほど人気を博した網野善彦氏の「社会史」の傑作『増補 無縁・公界・楽』も、あわせておすすめする。両書を併読することをとおして、必ずや学問の楽しみが味わえると考えるからである。

今月の…ぴか！



酉の市とは、11月の酉の日に各地の鷲（おとり）神社で行われるお祭りのことです。酉の日は12日ごとに巡ってきますから、日のめぐり合わせで2回の年と3回の年があります。11月最初の酉の日を「一の酉」次から順に「二の酉」、「三の酉」と呼びます。「三の酉」がある年は火事が多いという俗説があり、その年の年末まで特に火事が注意されます。

酉の市では縁起物として熊手が売られますが、酉の市で縁起物を買う風習は、関東地方特有の年中行事であるようです。熊手は縁起物ですか

酉の市（とりのいち）

ら値段が付いていません。そこで売り子と客とで値踏みが行なわれ、熊手商と買った(勝った)、まけた(負けた)と気っ風の良いやり取りを楽しんで買うものとされています。商談が成立すると威勢よく手締めが打たれ市が活気に包まれます。熊手は年々大きくしてゆくものとされ、大小様々なものが売られており、小さいもので1,000円。大きいものだと十万円もします。また三の酉の年には熊手商の多くは縁起熊手に「火の用心」のシールを貼って売りだします。

ちなみに、今年の酉の市は、11月11日が一の酉、23日が二の酉となります。

※参考にした資料は、

河口謙二、池田孝、池田政弘 著『改定新版 年中行事・儀礼事典』(東京美術選書：19) 東京美術、1997年
飯倉晴武 著『日本人のしきたり』 青春出版社、2003年

です。興味をお持ちの方は、どうぞご覧下さい。



(編集後記) 秋になり、もうすぐ紅葉のきれいな時期になりますね♪秋といえば、読書！そしてお祭り！そして…。一年も後半、いろんな資料を探して、読んでみましょう！(玉)

発行所

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 高野山大学図書館 閲覧室

Tel:0736-56-3835 / Fax:0736-56-5590 /

E-mail:service-lib@koyasan-u.ac.jp